

広報

ひがしや

迎春

1989 元日





テレビ塔から町を望む（12月27日撮影）

新年のごあいさつ

出羽丘陵新時代を迎えて

町長 畠山 亮二郎



出羽丘陵の大自然に恵まれた、伝統豊かな東由利町。この町に住むことの幸せを願いながら、二十一世紀に向けて、新しい町政の流れを……町民に訴え、新しい町づくりをめざして就任して以来、早くも六年目の新年を迎えました。

これまで町民から私に課せられた使命は、新時代に備えるレールづくりと考えて、その実践に全力を尽くしてまいりました。この間、就任早々には、「出羽丘陵開発事業」の着工。引き続いて、公約である誘致企業「秋田信英株」の立地。更には、特別養護老人ホーム「東光苑」の建設。「健康増進センター」の建設等々……。躍進著しく、活気に満ちた五年間でありました。

基幹産業である農業の基盤整備が進み、若者定住のための生活基盤整備が促進され、長寿社会対応の諸施策が充実される等々。新しい町づくりのためのレールを着実に敷いてまいったつもりであります。これらの実践活動により、新しい町政の流れが急ピッチに進み、このたび更に、出羽丘陵開発事業の竣工をみるに至り、「稲作プラス畜産」の町づくりが一段と飛躍し、まさに「出羽丘陵新時代」を迎えることとなりました。

いま、私は行政指標として……「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」をめざしております。緑の大自然の中に、東由利町発展のための諸施策をいかに調和させて町づくりをするかが、今後私に課せられた任務と考えております。

今年はこの考え方を基調として、新しい施策を十分に盛り込みながら、全力を尽くしてまいっている所存でありますので、町民各位の一層のご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

お祈り申し上げます。

謹賀新年

新春を迎え、慎んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

町長・畠山亮二郎

助役・畑山良一

収入役・佐藤謙

教育長・畑山昭一

総務課長

●佐藤 文十郎

企画財政課長

●八島 保

税務課長

●小松 正昭

住民課長

●櫛野 忠義

公営事業担当参事

●小松 与一郎

産業経済課長

●中西 蔵之助

建設課長

●小松 久男

特別養護老人ホーム東

光苑施設長

●小松 丈介

出納室長

●阿部 力

議会事務局長

●阿部 弘章

教育次長

●森川 昭児

公民館長

●青木 和雄

農業委員会事務局長

●菅原 賢治

道筋をより確かに

町議会議長 長谷山 二郎



一年があつというまに過ぎてしまった。計画通りに進まなかったことなど、あれもこれもと、去る

年を恨めしく思うのはまさに凡夫のたわごとなのだろう。それにしても、近年特に心残りの念があるのは一体どうしたことか。

しかし新年はいい。過ぎ去りし日々の心残りを押しつつみ、この一年さらには将来へ向かって大きな夢が実現するが如く、誠に心機一転の気分を運んでくれる。

これはありがたいことだ。かくなう上は、この心機一転の新年の区

切りを大切にして、町の大きな前進の土台としたいものである。

昨年七月、町民の直接審判のもとにスタートした新議会も、早や半年。ベテラン、中堅、新進気鋭と、まさに各界各層の精鋭が、ともすれば事後承認機関といわれかねない議会を、行動と提言と真の

是々非々の本来の議会へと、一步前進させている。与えられた任期を全うすることはもちろん、この四年が、将来の土台をつくる四年だという自覚のもとに、二十一世紀へ向けたわが町の道筋をより確かにしてまいいることをお約束申し上げたい。

さて、いま町の発展にとって一番大切なことは、「提言」に耳を傾ける気風があるのかどうか、もう一つはマンネリと惰性の排除で

ある。主人公である町民が町づくりのための積極的な提言を行い、それをしっかりと受けとめることでそこから町づくりへの限らない意欲が生まれてくるのではない

いか。いま先進地で起こっている町づくりの具体策やイベントのどれをみても、そこに住む町民の、時には老人の、時には婦人の、時には青年諸君の止むに止まれぬ愛町の行動が原点であることを、強く指摘したい。まさに「天は自ら助くるものを助く」である。

主人公は自分たちだといふ気概をご期待申し上げて、年頭のごあいさつとします。

う気概をご期待申し上げて、年頭のごあいさつとします。

町議会常任委員長に聞く：今年はこの活動を……

真剣な調査活動と謙虚な勉強を……

総務財政委員長 小松 鉄郎

「ふるさと東由利に住むしあわせ」の追求に集約されることは「創生論」を待つまでもない。まず現実の足元を見つめて行きたい。町の施設も整いつつあるが、しっかりと維持する財政配慮が必要になってきた。健全な財政と着実な生産拡大、健康を守る福祉と快適な人生のための消費等、町も家庭も基本的には変わりはない。総務財政委員会は、真剣な調査活動と謙虚な勉強、そして活発な提言をして、付託に応えるよう頑張っていきたいと思います。

施設を利用し心豊かな人づくりを

教育民生委員長 阿部 剛

新春をお迎えし、心からお祝い申し上げます。町では、年々色々な施設が整備されてまいりました。今年こそこの施設を、おいに活用しながら、感性、知性に富んだ、心豊かな人づくり、町づくりをめざしたいものと思っています。きびしさの中にも、うるおいのある生活を指標にして、委員会本来の職責とその使命を果たしたいと念じ、皆さんの御指導を心からお願い申し上げます。

国・県道の改良進め産業立地に対応

産業建設委員長 長 沼 久男

県の統計によると、本町の第一次産業の生産額は由利郡内で五位、第二次産業で七位、第三次産業は最低の十位となっている。農林畜の第一次産業の生産性を高めながら、第二次、三次産業の比率をもっと高めることが町の課題と思う。基本は交通であって、国道一〇七号線の改良を早め、各県道の末端改良を進めて、生活環境の改善と共に、産業立地に対応しなければならぬ。当委員会はその方向で議会活動を進めたいと思っています。

本年もよろしく お願い申し上げます

《総務財政委員会》

● 畠山 淳悦
● 小松 慎一
● 畑山 清一
● 佐藤 万一

《教育民生委員会》

● 畠山 作四郎
● 小松 賢
● 佐藤 智治郎
● 伊東 庄一郎
● 小野 要造

《産業建設委員会》

● 梅津 栄一
● 渡辺 清一
● 高沢 忠
● 遠藤 忠平
● 小松 豊

議長、委員長は除かせていただきました。



行政報告をする島山町長

計画など報告

2,000万円余りを減額

十二月定例議会が十二月二十日から四日間の会期で開かれ、議員や特別職報酬の引き上げ案、昭和六十三年一般会計補正予算案などの審議を行いました。

審議に先だち町長の行政報告と一般質問が行われました。その報告と、質問・答弁（六面に掲載）を中心にお知らせします。

今年を振り返ってみますと、農業立町としての東由利町にとりまして、明暗二つが振り分けられた年のように思われます。

まず、明の方から申し上げますと、六年がかりで進めてまいりました出羽丘陵開発事業が、十月に竣工するに至りまして、畜産振興の基盤整備事業としての大プロジェクトを終え、まさに新しい出羽丘陵農業時代を迎えたということであり、これに加えて、この一年の子牛市場が一頭当り平均四十三万円を超える高値安定が続いて、畜産農家にとりましては、喜びの一年であったということでもあります。

次に暗の方を申し上げますと、春以来の天候不順に災いされまして、稲作がやや不良の結果に終わり、中には相当の減収の農家が出てまいり、共済金の対象農家等が多く出るに至ったことでもあります。また、東北一帯が天災融資法の適用を受けるなど、稲作不況の年でありました。

このような中ではありますが、本年は、稲作農家の努力が実を結び、十二月現在の限度数量に対する出荷量が九七〇まで進み、一等米比率においても九一・七で前年並となりました。作況指数においても、九七のやや不良という数字で押さえられたことは、県内の農家に比較しわが町の農家の努力の結果といえるものであります。四年続きの豊作の後だっただけに、豊作の年に比べてショックではありましたが、まずまずの一年であったように思います。

稲作

今年の県の稲作作況指数は九三で不良、特に県南地方に不良地帯が多く、県全体としても天災融資法の適用を受ける作況でありました。そのような中で本町の作況指数は九七でやや不良という集計結果が出ました。

被害の多い農家に対しまして救済対応がなされておりますが、現在のところ農業共済金交付者五十三人（約一千万円）、天災融資法による融資金適用予定者十八人（九百五十五万円）で、被害二〇〇以上の希望者に対しては県単冷害資金を、被害一〇〇以上の希望者に対しては農協冷害資金の貸付をそれぞれ適用し、救済措置することにしております。天災資金については、借入者の利子補給金として町負担で〇・四七五から〇・六六二五まで持出しすることになります。なお、県単資金については町で〇・五の利子補給を行い、農協冷害資金については町の利子補給分をどの位にするかを検討しております。

米の出荷状況は、十二月十日現在で買い入れ限度数量六九、二〇三俵（六十キ）に対し九七・五の六七、四七六俵、一等米比率は九一・七で昨年とほぼ同じです。平年収量五四〇キ（十ア）に対しては五百二十五キという結果となりました。このような作柄から限度数量に変更が生じ、減額四、一九六俵、増額二、四六九俵、差し引き一、七二七俵の減額補正をすることになりました。以上の状況から、本年度の米の出荷収入をみますと、作況指数一〇八で豊作だった前年度比で一億五千七百万円の減収、平年作比では四千四百万円の減収が見込まれることになりました。

転作

今年の目標面積二百四十六畝に対し、達成率は一〇五・五となりました。転作物の作付け状況は、飼料作物が全体の七三、葉たばこ四・九、大豆四・一、かぼちや二・二、小豆三・二、スイートコーン一・二が主なもので、このほかスカカ、フキ、メロン、サヤインゲンなどとなっていますが、依然として飼料作物が転作物の主流をなしており、収益性を考えると今後の指導強化の必要性を痛感しているところです。

葉たばこ

本年度の耕作面積は昨年と同じ三十八・二で、耕作者は六人減の八十五人でした。今年は品種がバーレー種にかわった関係上、天候と技術に左右され耕作者が作付けにかなり苦労したようです。しかし良質生産で、増田管内一の収穫実績を収めることができました。前年度比較では一千三百万円の減収が見込まれております。

子牛市場

一月から十二月までの売り上げ頭数は九百十八頭で総額四億二千五百一十九万九千円であり、一頭平均では四十三万八千四百七十三円となり、かつてない売り上げ実績となりました。これを前年実績に比較しますと、売り上げ頭数で六十七頭の増、一頭当り平均価格で三万七千円の増となり、売り上げ総額では六千四十二万五千円の収入増という実績が示され、



400メガヘルツに更新した防災行政無線

野球場建設

一般会計補正予算で

過去最高の収入となりました。また、昨年以来増頭対策奨励金制度を創設して畜産振興対策を実施しているわが町に取りましては、行政施策と相俟って、その効果に期待するものが大きかっただけに畜産農家の努力を心から喜んでい

林業関係

林業振興対策として本町が

独自で進めてまいりました作業道開設事業は今年で四年目になり、すが、好評の中に進められており、本年度計画分十七路線九千五百九十二畝を完了、これまでの総延長は四十六・五キロメートルとなりました。直営造林事業は、新植十三・二六畝、保育事業は、除伐と保育間伐等合わせて百四十八・一畝、造林事業総面積百六十三・四六畝を計画通り一〇〇％実施済みとなりました。本年度新規採択となりました八塩ダム周辺の町民いこいの森整備

可決された主な議案

12月定例議会に提案された議案は一般職員ならびに特別職、議員の給与・報酬改正案、昭和63年度一般会計補正予算案など14議案で、いずれも原案通り可決されました。主な内容は次の通りです。

一般職員給与の改定▶平均2.41%を4月にさかのぼって引き上げる。

特別職給与、議員報酬の改定▶1月から次の通り引き上げる。()は現行。
▶町長＝62万5千円(60万円)▶助役＝48万5千円(46万円)▶収入役＝45万5千円(44万円)▶教育長＝43万5千円(42万円)▶議長＝20万円(18万5千円)▶副議長＝17万円(16万円)▶議員＝16万2千円(15万円)

昭和63年度一般会計補正予算▶現計予算から2,073万7千円を減額。歳入歳出予算の総額は26億4,704万3千円となった。

主な内訳は、増額で▶職員給与関係費＝1,347万円(給与改定関係)▶道路災害復旧費＝674万円(工事請負費)▶河川災害復旧費＝2,164万円(同)、減額が▶農地費＝1,276万円(県営地すべり事業負担金など)▶第三期山村振興事業費＝2,120万円(工事請負費など)▶林道新設費＝473万円(用地測量委託料など)▶造林費＝770万円(人夫賃金など)▶道路新設改良費＝1,584万円(工事請負費など)

※東由利町農用地開発公団事業負担金徴収条例の一部改正、公有林野等官行造林契約解除、特別会計補正予算などの議案を割愛しました。

に係わる国の補助事業、緑地等利用施設整備事業は、二カ年計画で進めてまいりましたが、本年度分として散策路(延長千六百メートル)、キャンプ場、運動広場、管理棟等事業費総額四千三十三万九千円の工事を終了しました。残工事は明年度実施する計画であります。

出稼ぎ

本年度冬季出稼ぎ者数は四百五十人

前後の見込みとなりました。これは、前年度比で三十五人の減、五年前の昭和五十八年と比較しますと二百六十人の減少となり、過去最低の記録となりました。

流雪溝

老方地区流雪溝は十二月二十日に完

成する運びとなっております。館合地区流雪溝は、千八百九十九万円の事業費で工事中でしたが、このたび完成し、館合・八日町地区流雪溝利用組合が結成され運営に入っております。

野球場

近日中にボーリング調査

次に建設事業関連で、明年度予定事業のその後の経過などについて申し上げます。

火葬場

の建設計画については、かねてより

議会全員協議会でご検討をいただいているところですが、明年度着工に向けて準備を進めており、近日中にボーリング調査に入ることとなりました。

野球場

の建設については、先日の全員協議会

でご協議いただき、現場視察をいただいたところであります。明年度建設に向けて、県並びに労働省に対して、雇用促進事業団事業として採択方を強く要請し続けており、事業準備として近日中にボーリング調査に入ることにしました。

防災無線

従来使用して

防災行政無線は、一五〇メガヘルツでありましたが型が古く、かねてより東北電気通信監理局より四〇〇メガヘルツに切り換えるよう強く行政指導を受けておりましたので、このたび更新しました。現在同監理局の検査を終え供用を開始しております。これにより町内全域の通信が可能となりました。これまでの無線機については微調整を行い、消防全車に取り付ける計画で体制準備を図っております。以上、事業関係を中心に進捗状況などをご報告申し上げます。

※道路関係は、広報十二月号「すすむ道路整備」でお知らせしましたので割愛させていただきました。



12月定例議会・議場

12議員が町長の考えをたずねる

一般質問は十二議員が道路整備や産業振興などについて町長の考えをたずねました。以下質問と町長答弁の一部をお知らせします。

笹山テレビ塔(田代)への、民放中継局の併設について。

六十四年中に調査検討を終え、六十五年には建設したいと考えています。

町づくりに町民の創意工夫が反映される機会を設けてほしい。

同感であり、ご提案の主旨を生かし明年度には「ふるさと創生町づくり」(仮称)の町民組織をつくりたいと考えています。

県道仁賀保矢島館合線の沢中・大吹川間を現道のまま改良・舗装する計画と聞くが、将来に禍根を残すことのないよう慎重に検討し整備されたい。

難所でありしかも地すべり地帯であるため、技術・工法上現道を整備するしかないという結論のようです。

「あきたこまち」の作付け拡大・定着のために今後どのように対応指導していくのか。また「由利牛の里」の課題として、肥育から販売までの確立が急務であると思うが町長の考えは。

米はやがて産地間競争時代を迎

えることは必至と考え、良質米生産の指導を強化しているところで。現在、有機・自然乾燥米として本町の「あきたこまち」が注目を浴びており、これらを基盤として拡大・定着を進め、今後予想される産地間競争に打ち勝っていきたいと考えています。また「由利牛の里」としての畜産の振興については、これまでの行政施策の効果があらわれ、本荘市場では主流をなすまでに至りました。しかし輸入牛肉に対応するためのコスト減などの課題もあり、今後は繁殖から肥育販売までの一貫体制を目指す必要があります。このため「肥育素牛導入事業」を進めてきましたが、今後なお一層拡大を図り、畜産農家の育成指導を強化していく所存です。

桐栽培振興計画の成果と今後の見通しについて。

特用樹林造林事業により昭和五十年から五十九年まで二百十畝に植栽してきました。その結果十年後には県内有数の桐産地になるといわれています。これまでの原木販売から加工販売への転換を図るために、林産物処理加工施設の有効利用を期しておりますので、森林組合の経営努力に大いに期待しております。また今後は、桐生産地として安定した素材供給ができるよう産地体制の確立を図るため、県のバイオによる桐の優良苗木を確保し適地への植栽に力を入れて

まいりたいと存じます。
温泉開発は町活性化のためにも必要と考えるが町長の所信は。

結論から申しますと、これまでもお答えしてきた通り、将来十分検討した上で開発を考えたいと申し上げられません。温泉開発と一言で申しますが、大きな財政負担と成功するかどうかの技術的な問題があります。先日、温泉試掘の失敗が新聞報道されていましたが、これは付近に湯脈がありながらも失敗したというものでした。また、鹿兒島で開かれた過疎問題シンポジウムでは、温泉は過疎の解決にならず、むしろ町が衰退したという報告がありました。つまり温泉の立地条件や経営により必ずしも活性化に結び付かないという事です。

県道横手東由利線は浮蓋まで現道のまま改良されているが、浮蓋・雄物川間は放置されている。期成同盟会運動状況の報告と併せて、本町の主動的取り組みを望む。

十一月二十一日の三町合同の現地踏査の結果、大森地区、雄物川地区はそれぞれ町道など既存路線を現道改良し、完成後に浮蓋地区から路線変更し県道と町道を結ぶという、三町一致の構想となりました。このため改良は数年先になると思われます。将来この路線は本格的な改良が必要であると考え

ています。
国保税が高いという声が聞かれる。来年度に値下げできないか。

現行制度では値下げにつながることはなく、仮に単年度で値下げしたとしてもその後それ以上の値上げにつながります。本町の国保運営は健全で、由利郡内では最低の税額です。そうした成果から、優秀な町として本町が国保事業五十周年記念式典で表彰をうけたところです。

景気回復により地方交付税の伸びが予想されるか。また町税は。

六十三年度の普通地方交付税決定額は前年比で五・五割の伸びとなりました。明年度は少なくとも四割の伸びを期待しながら財政計画を立てています。町税収入は本年度上半期調定額の伸びが五・六八割で、かなりの伸びが期待されます。明年は農産所得の減収や税率改正などの影響で伸びは期待できないのではないかと存じます。

岩館バイパスの早期実現を。

去る五月二十六日に現地を視察し、由利土木事務所から示された三ルートについて議員の皆さんと共に検討してきたところです。今後の問題としては、地域住民の盛り上がり、特に蔵・法内地区一体となった協力体制に期待しているところです。

1月から

国の行政機関が土曜閉庁になります

■国全体で労働時間の短縮を■

わが国は戦後、飛躍的な経済発展を遂げましたが、先進諸外国と比較して立ち遅れていることの一つに、「長すぎる労働時間」があります。

日本人の年間総労働時間を欧米の先進国と比較してみると、二百時間から五百時間も長くなっています。このことが生活にゆとりを実感できない原因の一つになっています。また、「日本人は働きバチだ！働きのすぎる！」という国際的な批判を招くことにもつながっています。

閉庁は第二および第四土曜日

こうした時代の流れから、公務部門（行政機関）でも週休二日制を進めていく必要性があると考えられ、今年の四月から国家公務員の四週六休制（四週間に付き四日の日曜日のほか、二回の土曜日を半数の職員が交代で休むこと）が実施されています。

しかしこのような閉庁方式では、次のような問題があります。

- ①半数の職員では、能率的に業務が実施できない。
- ②今後さらに週休二日制を推進する際に、閉庁方式では困難である。

こうした点を踏まえて、いろいろな角度からより良い方法が検討されてきました。その結果、わが国でも公務部門の週休二日制を推進するため、今年1月から国の行政機関の「土曜閉庁」がスタートすることになりました。

閉庁する土曜日は、毎月の第二および第四土曜日です。

地方自治体も

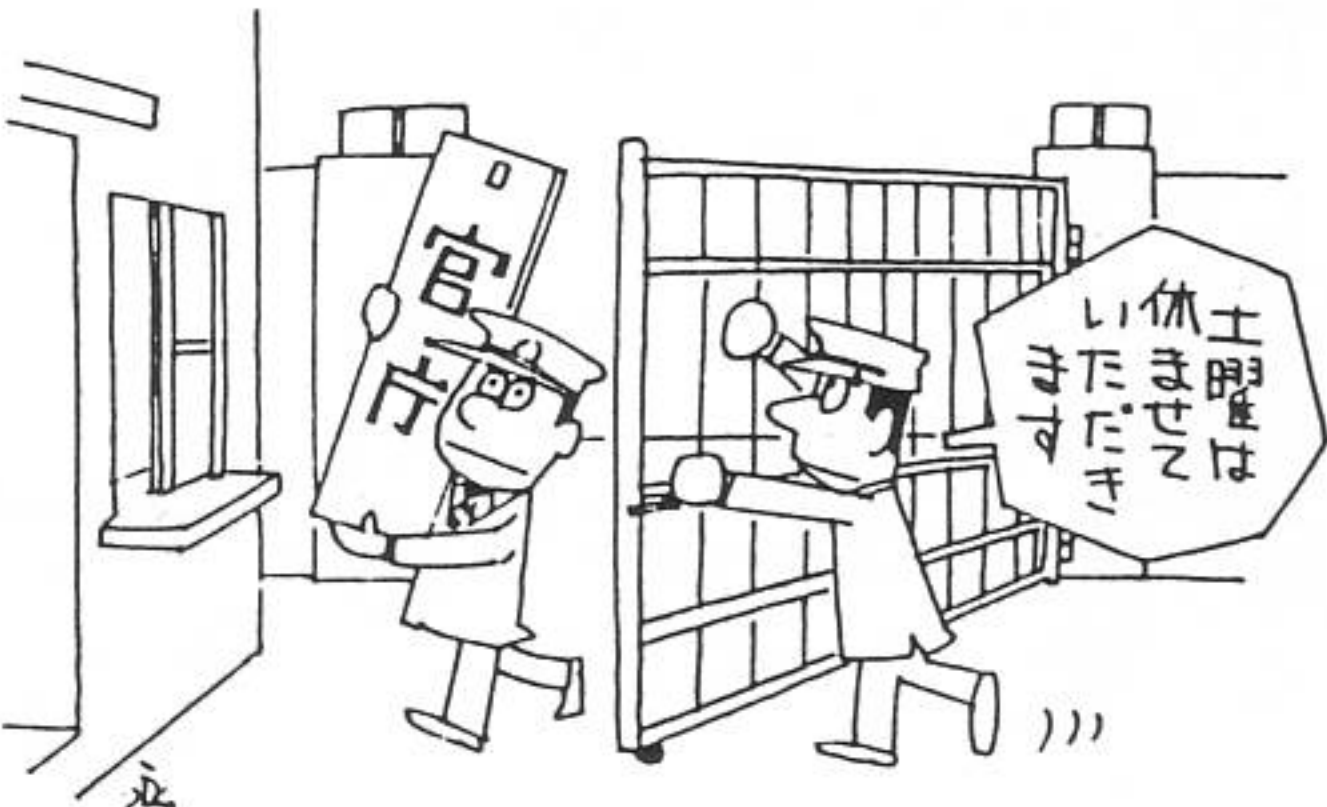
“閉庁方式”を検討中

しかし、日本の役所は土曜日が“半ドン”という長い間の習慣から、「お役所まで週休二日制になら、

「だったらどうなるの？」という声もあります。

こうした要望を考慮し、航空管制や海上保安部、地方気象台など、交代制で事務を行う必要がある官署、週末に利用率の高い博物館や美術館は対象としません。また、国立学校や国立病院の外來部門などは、当面閉庁の対象とせず、さらに検討することになっています。

土曜閉庁は、国全体として労働時間の短縮を進めるという観点にたって実施されるもので、これに伴って今後は地方自治体でも“閉庁方式”の導入が進められていくものと思われます。



外国では主要四十カ国のうち、既に三十一カ国で公務部門の完全週休二日制が実施されています。サミット参加六カ国についてみてみると、イタリアを除くアメリカ、イギリス、西ドイツ、フランス、カナダでは、いずれも一九六〇年代までに、“閉庁方式”による公務部門の完全週休二日制が実施されています。

こうした背景もあり、わが国も民間では週休二日制が年々普及してきました。ちなみに何らかの形で週休二日制を実施している事業所は、全体の八〇％と、わたしたちにもだんだんなじんだ制度となつてきています。

●土曜閉庁の例外となる主な機関●

〈交代制の機関〉

- ▽刑務所等の保安部門▽国立病院等の病棟部門▽航空管制部門▽海上保安部▽地方気象台▽税関・地方入国管理局・検疫所・植物植物防疫所・動物検疫所のうち空港のある機関▽普通郵便局等の郵便部門▽皇宮警察本部

〈週末に特に利用率が高い公共施設〉

- ▽博物館▽美術館▽国立青年の家▽国立少年自然の家▽国立婦人教育会館▽国立オリンピック記念青少年総合センター

〈学校・病院（外來）〉

- ▽学校Ⅱ国立大学付属小・中・高等学校▽国立大学▽国立高等専門学校▽病院Ⅱ国立病院・国立大学付属病院等の外來部門
- ▽日雇労働者を扱う公共職業安定所の内の一室▽市況情報収集・提供を行う統計情報事務所の内の一室▽貯金事務センター▽税関・植物防疫所・動物検疫所のうち港にある機関

巳年生まれ

今年の年男、年女は…

男 233人
女 271人



湯治、旅行など、今年も忙しそう

長谷山長四郎さん(館合新田) M38・5・30生
毎日内職を手伝っています。手先を使うのでボケ防止には大変いいようです。

昨年は東京にいる息子のところへ、1ヵ月ほど遊びに行ってきました。今年もぜひ行きたいと思っています。また、妻と一緒に十数年来続けている湯治、老人クラブの旅行など、今年も何かと忙しそうです。くよくよせず、元気いっぱい楽しく過ごしてまいりたい…。



二人目の孫の誕生が楽しみ

畠山忠治さん(中通) S4・12・29生
農家経済の低迷が私たち商業にも大きな影響を与えています。そうしたことから、厳しい新年を迎えたな…というのが実感です。

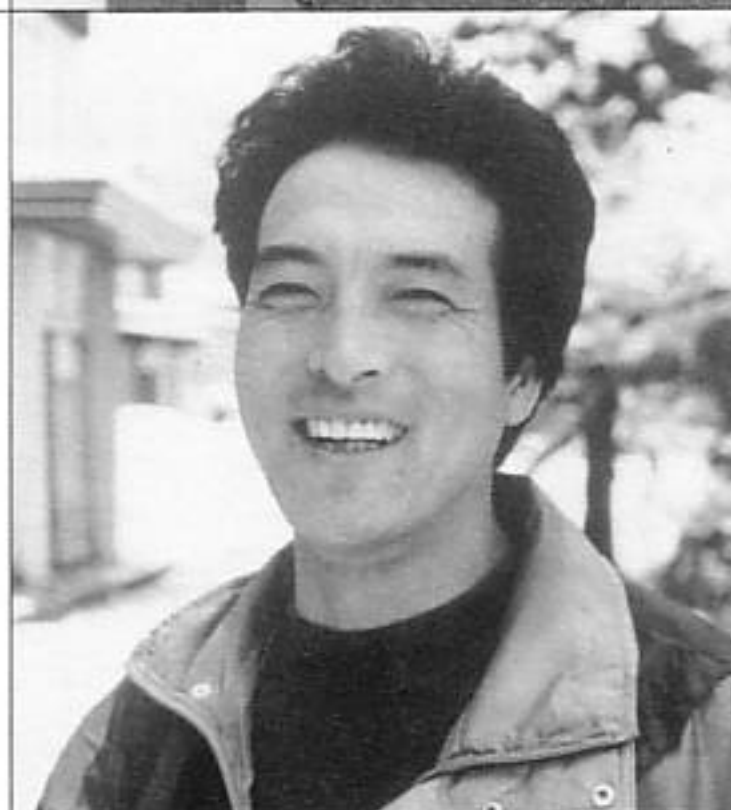
今年はどうやら私と同じ巳年生まれの孫が誕生しそうです。3歳になる女の子につぐ二人目の孫なのですが、今から楽しみにしています。男でも女でもかまいませんが、とにかく元気に生れてくることを願っています。



健康第一で頑張ります

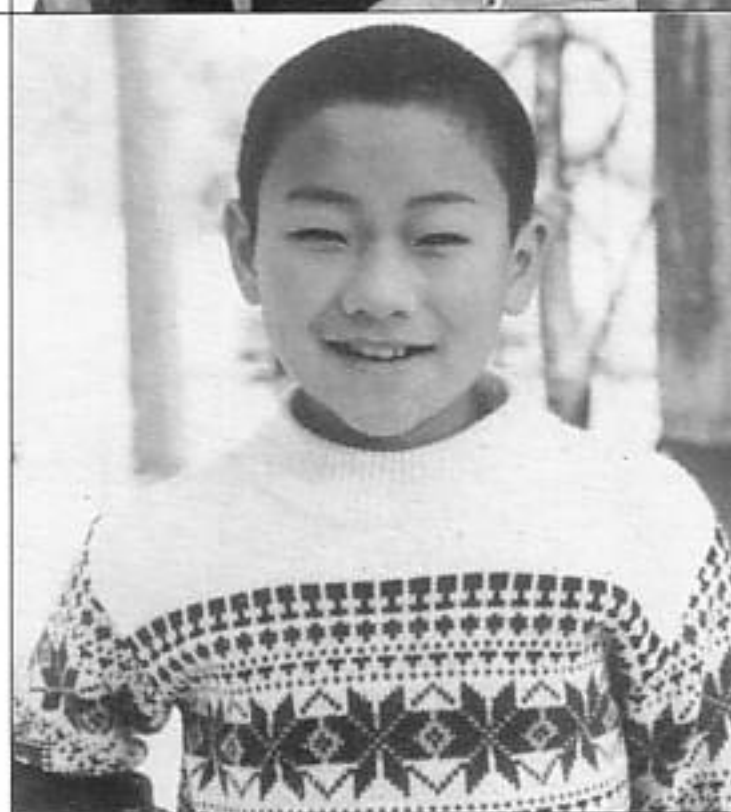
遠藤良夫さん(新処) S28・10・1生
昔から巳年は不作と言われます。昨年に続き不作が心配されます。農業に従事して10年になりますが、これまでの経験を生かし、今年はぜひ豊作の年にしたいものです。

30代半ばを迎え、気になることは、やはり健康のことです。人間は健康な身体が資本です。恐ろしい成人病にかからないためにも、今年一年、健康第一に頑張りたいと思います。



今年はぜひ野球部のレギュラーに…

高橋和久くん(智者鶴) S52・4・2生
去年の4月から部活で野球をはじめました。でも、いくら頑張ってもレギュラーになれませんでした。それで応援団のリーダーをやらせてもらいましたが、てれやのぼくは、みんなの前で応援をするのがはずかしくてなりませんでした。でも何か一つくらいはやりとおそうと、一生けん命頑張りました。今年は、ぜったいにレギュラーになりたいと思います。



明治26年	3人	(男1人、女2人)
〃 38年	26人	(男12人、女14人)
大正6年	男25人	女33人 58人
昭和4年	45人	64人 109人
〃 16年	38人	39人 77人
〃 28年	51人	53人 104人
〃 40年	25人	27人 52人
〃 52年	36人	39人 75人

巳年生まれの504人一。これは、町内に住んでいる巳年生まれの方々を、住民基本台帳(12月1日現在)から抽出して調べた結果です。これによると今年の年男は233人、年女は271人で、どうやら巳年生まれは女性の方が圧倒的に多いようです。年代別では、昭和4年が最も多く109人、次いで同28年の104人、同52年の75人などとなっています。また、巳年生まれ最年長者は、明治26年生まれの鈴木寅治郎さん(舟打場)、油川ヲキミさん(蔵)、梅津ヤスさん(大琴)の3人で、町一番の長寿者・佐藤アキノさん(五海保・96歳)に次ぐ長寿者です。

ここでは、今年干支を迎えられた方々の中から、年代別に8人の方に登場していただき、今年の抱負などについて語っていただきました。



われら

戦死の子に感謝し余命を全うしたい

梅津ヤスさん（大琴）M26・9・5生

からだの弱かった私が、よくもこんなに生きながらえているものです。今、高齢者の中には、過去の戦争で子供を亡くした母親がきわだって多いそうです。日本でもアメリカでも…。私も二人の息子を戦死させました。今日までこの子たちのことは一時も忘れたことはありません。これからもこの子たちに感謝しながら、余命を全うしたいと思っています。



心を新たにがんばりたい

柴田イネヨさん（蔵）T6・9・12生

東由利町にお世話になりましてから35年。町民の皆さんのご支援のもとに、私のようなものでも、どうにか生きてくることができました。人の世のありがたさ、人情の深さをつくづく噛み締めている今日このごろです。

干支である巳年を迎え、心を新たに、高齢の身ではありますが若い者ともどもにがんばっていきたいと思っています。



子供たちに夢託しファイトで頑張りたい

小松久子さん（家の下）S16・7・27生

若くして結婚し4人の子供に恵まれ、上の娘二人には孫も生まれました。毎日の暮らしに満足して生活しています。4回目の巳年を迎えた今年は、大学生と高校受験でがんばっている子供たちに大きな夢を託して、働くことに生きがいを持ち、主人と二人で健康に気をつけながら、ますますファイトを出してがんばっていきたいと思います。



仕事と勉強の両立が当面の課題

佐々木百合賀さん（大琴）S40・6・25生

大学を卒業し社会人一年目の昨年は、とにかく忙しい毎日でした。不慣れや知識不足などで時間的、精神的にも余裕を持てずに過ぎてしまいました。今年は是非、心にゆとりを持って過ごしたいです。とはいえ、まだまだ半社会人。初志貫徹で一日も早く目指す職業につけるよう、いかにして仕事と勉強を両立させるかが、当面の私の課題となりそうです。



今年は巳年、すなわちへび年です。へびは、十二支の中の唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

へびと聞いただけで、身ぶるする人もいます。ですが、それはたぶんグロテスクな姿のせいです。足は退化してなく、細長いからだをくねくねさせて動く様子は、へび独特のものです。

あの細長いからだで、内臓はどうなっているのだろうか？…ご心配には及びません。内臓もからだに合わせて細長く伸びて

いるほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

今年は巳年

昔話に多くみられます。

たとえば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は、全国的

でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、

にあるといわれます。また、白いへびを家の神とする信仰も各地にみられます。

ところで、へびは集団をつくらないといわれます。アリなどのような社会組織や集団の例は、まったく知られていないということです。いつも

「ひとり」で孤独な生活をしている。そのため、異性と出会う機会

がたいへん困難だということですね。ちよつときびしい話ですね。ところで、へびは、生きていく間ずっと成長し続けます。発育にとまって、古い皮は三カ月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのを取り換えられる…脱皮です。お正月を機に今年こそ

は新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。



町の花に選ばれた「黄桜」(ぎょいこう)

応募結果は次のとおりです。
木〓桐二十三点、杉五点、いちよ
う四点、梅、黄桜、ホウノキ各一点。
花〓黄桜二十九点、梅、やまゆり、
ゆり、白ゆり、つつじ、片栗各一点。
鳥〓かつこう十五点、やまどり九
点、やまばと三点、きじ二点、う
ぐいす、せきれい、山雀、おしど

り、きつつき、とんび各一点。
イメージマーク〓九点。
これに基づき十二月十一日、議
会、農協、商工会、住民(二人)、
行政(二人)の代表のほか、アド
バイザー一人を含む八人による選
定委員会を開きました。
この結果、「町の木」には応募

町
の
シ
ン
ボ
ル
、
イ
メ
ー
ジ
マ
ー
ク
は
今
後
、
町
の
イ
メ
ー
ジ
ア
ッ
プ
を
図
る
た
め
、
多
角
的
に
利
用
し
て
い
く
方
向
で
検
討
す
る
こ
と
に
し
て
い
ま
す。

またイメージマークは、「あき
たこまちと由利牛の里」をモチー
フした九点の応募作品の中から、
石渡力造さん(蔵新田)、鎌田次
男さん(本莊市)、佐々木さき子
さん(同)、佐藤博敦さん(八日
町)の四点を入選作品に選定。こ
れをデザイン会社に委託し、修正
を加えた上で使用していくことに
しました。

町の木 町の花を決定

町のシンボルとして、木は「桐」、
花は「黄桜」を選定しました。
これは、本町が今年町制施行十五周
年を迎えることを記念し、昨年十月か
ら町のシンボルとしての木、花、鳥と、
イメージマークを募集していたもので、
応募結果をもとにこのほど選定委員会
を開いて選定したものです。
なお、鳥についてはふさわしいもの
がなく、選定を見送りました。



町の木に選ばれた「桐」

〈町のシンボルイメージマーク選定委員〉
▽小松賢(町議会議員)
▽高橋忠男(東由利農協広報担当)
▽小松佳和(商工会青年部長)
▽大坂イヨ
▽小野武志
▽富田漣(秋田市・㈱アートシステ
ム制作部長)
▽畠山亮二郎(町長)
▽八島保(企画財政課長)

点数がもっとも多かった「桐」、
「町の花」には同じく応募最多数
の「黄桜」を選定。町の鳥につい
ては、応募多数の「かつこう」は
「町のシンボルとしてピンとこな
い」、「やまどり」は「県鳥であ
り他町村にも多い」などとし、こ
れ以外にもふさわしいものが見あ
たらないうとして、今回の選定を見
送りました。

町の木・花として応募されたも
のは、いずれも町のシンボルとし
てふさわしいものばかりでしたが、
「町の木」に決まった「桐」は、
本町が県内一を誇る桐の生産地で
あること、「町の花」に決まった
「黄桜」は、「黄桜まつり」など
で対外的にも知られている…こと
などが選定の理由となりました。
なお、県内ではどちらもシンボ
ルとして採用している市町村はあ
りません。

新成人に贈る言葉

小さな目標を積み重ね より大きな目標へ

一月十五日は成人の日。皆さんにとって、社会への第一歩となる大事な日です。その門出を祝って、ソウル・オリンピック・背泳ぎ百メートルで、金メダルに輝いた鈴木大地さんからメッセージをいただきました。鈴木さん

ソウル・オリンピックのあの瞬間、いまでも夢のような気がするんです。

「記録はいつでも出せるが、五輪は四年に一度しかない。とにかく勝つことだ」と、それだけを目指して、嬉しかったというより、とうとうやったのだという充実感が震えました。

二度の挫折からの再起

ぼくが水泳を始めたのは、小学二年のときでした。それまで



は、高校三年生のとき以来、自己のもつ日本新記録を更新し続けており、ソウル・オリンピックでも55秒05の日本新記録で優勝しました。その姿は、皆さんの記憶にも新しいことでしょう。

は、まったくのかなづちだった。だが、近所のスイミングスクールに通い始めたのですが、思うように泳げなくて、まるで面白くありませんでした。それでも一年半ほどで、どうにか人並み以上に泳げるようになり得意満面でした。

が、中学へ入って間もなく、最

われ、そんなコンプレックスもあって、すっかりくさってしまっただけです。

二度目の挫折は一昨年、極度の疲労からくる腰痛で、一カ月間、寝たきりの状態になったときです。百分の一秒を争っていた人間が、まったく泳げなくなりました。

極限状態に追い込む性格

は、何かなんでもやりぬこうと、心を奪い立たせたのです。

成人式を迎えられた皆さんに、ぼくが言えることがあるとすれば、どんなときもまず大きな目標を掲げたほうがいいということです。

「瞬発力」こそ若さの証明

ソウル・オリンピック金メダリスト

鈴木大地

初の挫折を経験しました。鈴木コーチと出会い、本格的に競泳に取り組みようになったのですが、さっぱり記録が伸びず、日ごとに自信を失っていったのです。

いまは身長一八〇センチですが、そのころのぼくは、名前とは裏腹に背が低く、友達から「チビ」と言

わけですから、それはたいへんな衝撃でした。ソウル・オリンピックで優勝という目標がボーンとくすんで、再起不能な自分の姿が頭をよぎりました。

「これくらいでくじけるなら、水泳はやめちまえ」、鈴木コーチからそう言われ、一度決めたこと

そしてその目標を達成するために、その過程で小さな目標をいくつかつくり、それをひとつずつ完遂していくことで、大きな目標に一步步近づいていくチャレンジ精神がいちばん大事だと思います。

そしてもう一つ大事なことは、その目標を達成するために、ここ

●鈴木大地(すずき・だいち)さん略歴●

昭和四十二年三月十日生まれ。二十一歳。小学校二年から水泳を始める。中学校一年のとき、現在の鈴木陽二コーチと出会い、本格的に競泳に取り組む。高校三年のとき、ロサンゼルス・オリンピック最終選考会の百メートル背泳ぎで、日本新記録を樹立し、日本水泳界のホープとなる。その後、のロス五輪や、ユニバーシアード大会などで、自己記録を次々と塗りかえる。昨年九月に開催されたソウル・オリンピックの百メートル背泳ぎでは、バサロ泳法で見事に金メダルを獲得。一躍「世界の大地」となる。現在、順天堂大学体育学部体育学科四年生。

だというときに、ワッと瞬発力を発揮させられるかどうかだと思います。ぼくは、ラッパを吹いて自分をギリギリの極限状態に追い込まないとうまくいかない性格なのですが、やはり、ここだというときのバネが若さであり、生きているエネルギーじゃないでしょうか。

子供のころは、二十歳という「へえー、すごい大人だなあ」と思いましたが、いま二十歳を過ぎて感じるのは、まだまだ幼いなあという気持ちです。でも、成人となったからには自分のやることぐらいいは責任をもち、常に目標に向かって邁進あるのみです。ご成人、おめでとうございます。

(談)

東由利歴史散歩

文・畑山昭二(町史編集室)

内陸と日本海沿
いを結ぶ連絡路
「中山郷助河駅」は、
東由利地内か？



写真・町の中心部(老方地区)

秋田県の歴史の中で、古代から中世にかけての史料は少ないと言われています。特に東由利町関係のとなるとほとんど残っていない現状で、直接玉米郷や下村郷の関係する名は、歴史上になかなか出てきません。やっと五百年前くらいになって史実として出てきますが、千年以上も前のことになる、他の史料からこの頃の東由利はどうだったのだろうか、推測するしかありません。例えば、和銅元年(七〇八)越後国が新しく出羽郡を建てたいと願い出た「出羽」の地域名が史上に登場し、やがて秋田もこの中に含まれることになりました。そして天平五年(七三三)出羽郡が秋田村高清水岡に作られ、それが後の秋田城になっていき

ます。一方雄勝郡に雄勝(小勝)城(西馬音内付近でないかとも言われるが明確になっていない)が作られたのが天平宝字三年(七五九)です。この頃中央政府の連絡拠点で、物資や通信の中継所として、定められた人と馬が常時置かれていた「助河駅」が作られています。この助河駅が「中山郷」にあったと言われますが、中山郷について和名抄には「おそらくは石沢川の溪中にあたり、雄勝郡への通路にされる村里か」とあります。由理郷は宝亀十一年(七八〇)出てきます。もし中山郷助河駅が雄勝城と由理郷を結ぶ連絡路で、これが東由利町内の一地域となれば、本町に關しての最古の記述となります。

生き生きした老後を！

「趣味は二つもとう」

第二回健康大学開催

今年度二回目の「健康大学」が十二月十六日有鄰館で開かれ、愛育班員や健康大学生など八十人が参加しました。

講師は、日本レクリエーション協会上級指導者・近江谷勇氏で、「生き生きとさわやかな老後を送るために」と題した講演と、朝一番に目覚めをスッキリさせる「ストレッチ体操」を指導しました。講演で近江谷氏は、「健康で生

き生きとした老後を送るために、常に心の中に：①生きる目的をもとう。②休息を充分とろう。③頭を使おう。④協力の精神をもとう。⑤広い視野をもとう」と訴え、そのために趣味を二つ持つことを勧めました。そして、毎日の全身運動とバランスのとれた食事が大事であるとし、「一日十五分間の全身運動を欠かさない。食事は緑黄色野菜、油脂、牛乳、小魚、海草、

き生きとした老後を送るために、常に心の中に：①生きる目的をもとう。②休息を充分とろう。③頭を使おう。④協力の精神をもとう。⑤広い視野をもとう」と訴え、そのために趣味を二つ持つことを勧めました。そして、毎日の全身運動とバランスのとれた食事が大事であるとし、「一日十五分間の全身運動を欠かさない。食事は緑黄色野菜、油脂、牛乳、小魚、海草、



近江谷先生からストレッチ体操の指導を受ける健康大学の参加者

穀物、いも、砂糖、肉、魚、大豆など、六つの基礎食品の中から万遍なくとること」を訴えました。また、「なぜストレッチ体操をするか：それは、筋肉が短縮して伸展性を失った硬い筋肉になることを避けたいからです。硬くなった筋肉はけがを起こしやすく、疲れやすいので健康上好ましくありません」とストレッチ体操の励行を勧めました。

ハチームリーグで
熱戦を展開中！

青年スポーツ交流大会開幕

第一回青年スポーツ(バレーボール)交流大会が十二月六日から健康増進センターで始まり、熱戦が繰り広げられています。参加チームは、町内の青年男女十五〜二十人編成のハチームで、選手総勢は百三十八人。年齢は二十、三十代の青年が中心ですが、中には五十代の監督さんみえるなど、バラエティに富んでいます。試合はハチームによるリーグ戦



健康増進センターで行われている青年交流スポーツ大会(写真・12/20)

で行われ、十二月は六、十三、二十日に六試合が行われました。今後、一月は毎週火、金曜日の計十四試合、二月は火曜日のみ八試合が行われ、三月五日に準決勝、決勝戦などが行われる予定です。(参加チーム)▽由利アパレル▽大日向商会▽蔵青年会▽秋田信英▽フォックス▽TANUKI▽ボパイススポーツクラブ▽あきたこまち

ヤングレポート さわやかさん



太田 幸子さん (23歳)

宇戸坂・花嫁修業中

町内に住んでいる昭和40年の巳年生れ(12月1日現在住民基本台帳)は52人で、うち27人が女性。幸子さんはこの中でも13人しかいない独身女性の一人で、目下花嫁修業中。2年前に青森県弘前市の東北栄養専門学校を卒業、栄養士のライセンスを取得しました。この資格を生かし、産休栄養士のピンチヒッターとして東光苑で、今月から働くことになっています。趣味、特技はもちろん料理を作ること。特に肉料理のレパートリーは広く味にも自信タップリ。「何事にも前向きの姿勢でアタックすること」をモットーにしていますが「おっちょこちょいで失敗もちよくちよく」。干支にあたり「後悔のない年にしたい」と抱負を語ってくれました。

東由利駐在所だより

—1月10日は「110番の日」—

通報は落ち着いて、正確に、はっきりと

110番制度が誕生して今年で41年目を迎えます。通報内容も交通事故やけんかの発生、泥棒や酔っ払いの被害に遭ったときなど…さまざまで、電話の普及により年々その通報は増えています。

昭和62年中の110番通報件数は、全国で368万7,690件。1日平均では1万103件で、8.6秒に1件の割合となり、国民の33人に1人が利用したことになります。

110番は、安全な生活を守るために欠かせることのできない手段です。慌てて通報し、受ける方で要領を得なかったりすることのないよう、係員の質問にしたがい①何があったか②いつ・どこで③犯人の手がかり④逃げた方向⑤何で逃走したか⑥通報車の名前・所在地など…落ち着いて正確に、はっきりと答えてください。

人形劇の公演も 雪ん子ふれ合いの集い開催

冬の行事としてすっかり定着した「雪ん子ふれ合いの集い」。今年も一月十三日に東中サッカーグラウンド、健康増進センターで開催されます。小学四年生以上中学生まで対象のゲームを中心としたイ



おなじみの箱ゾリレース (62年)

ベントで、おなじみの騎馬戦、箱ゾリレースのほか、今年は巳年にちなみ「ジャンボ・スネークゲーム」が予定されています。また、昼食時には全員に豚汁がサービスされます。そして午後は秋田市の人形劇団「タロンベ」による公演があり楽しみです。この集いには一般の方も参加できます。参加を希望する方は町公民館(六九・二三一)までお申し込みください。

佐々木前校長の後任で

大琴小に佐藤正氏赴任

大琴小学校の校長に、新しく佐藤正氏(五四歳・本荘市出身)が赴任しました。

前校長の佐々木勝敏氏(六〇歳・大内町出身)が、大内町教育委員会の教育長に選ばれ、十二月一日付で退職したことに伴い、同六日付で赴任したものです。

佐藤氏はこれまで県中央教育事務所由利出張所(本荘市)で主任指導主事として活躍してこられま



大琴小学校に赴任した
佐藤正校長

した。このため、大琴小学校のみならず本町の教育事情は熟知しており、今後、豊富な経験を生かした活躍に期待が寄せられています。

まちかど スナップ



町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。

サンタが園にやって来た

撮影・広報担当

クリスマスにはちょっぴり早い12月21日、永慶・みどり両保育園にサンタクロースがやってきました。実はこのサンタクロース、町交通指導隊員が交通安全の呼び掛けのため、サンタの恰好で園を訪れたもので、「ことし1年交通ルールを守ってくれてありがとう。これからは交通事故に気をつけてね」と、一人一人にクリスマスプレゼントのお菓子を手渡しました。突然のサンタの来園に園児は大喜びし、「来年もまた来てね」と、隊員と約束を交わしていました。

み

ん

な

の

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん



ぼくのおとうさんは
やさしいです。

高屋・おののぶひろくん(6さい)

伝承・昔の遊び 10

カルタとり

蔵・遠藤スツエさん (65歳)



ふるさとを想う 10

古里の冬を想い浮かべて

足立区保木間 半沢真利子さん(時雨山出身)



東由利の皆さん、明けましておめでとうございます。今、故郷の山々は真っ白な雪景色のことでしょうね。
わが家からも天気の良い日は白い富士山が見え、そのたびに田舎



指折り数えて待ったお正月……
子どものころ、やせうま(お年玉)で買った「いろはカルタ」で、家

の冬を思い出します。

小さいころ雪がしんと降っている中、よく小犬と一緒に滑ってスキーやそり遊びをしました。時間がたつのも忘れ暗くなるまで遊び、家に帰るころは長くつの中に雪がいっぱい詰まっていた。びしょぬれのくつ下や手袋を、ストープの前で乾かしているうちに置き忘れ、大きな穴があいて母に叱られたこともありました。
都会にいと四季の移り変わりが見え忘れることがあります。ふと思い浮かべる古里の情景……それは、言葉ではいい現わせない、私たちのメルヘンの世界です。

族や友だちと楽しく遊んだものでした。「犬も歩けば棒にあたる」「論よりしようこ」……など、昔の人が、遊びの中で人の道を知ってもらうために作ったことでしょうか。まぶたを閉じると、音もなく降りしきる静かな雪の夜、お供えの飾っている茶の間で「つぎ、えがナ……」と、カルタを読み上げる母のやさしい声が聞こえてきます。

ひ

ろ

ば

ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 10

コードレス電話の購入は
マークの表示を確かめて

コードレス電話は電波を使っただけの新しいタイプのものですが、電話機には混信などを防ぐための特別な技術が取り入れられています。電波法で定めている基準を満たしているものには次のような認定マークが必ずついており、マークのないものは違法で、混信したり、うまくつながらなったり、他人の料金が加算されたりすることもあります。コードレス電話を買うときには、認定マークのついていないものを選びましょう。

○技術基準適合証明



電波法の技術基準に適合していることを示しています。

○混信防止証明



混信などを防止するための呼出名称などを使用していることを示しています。

○電話回線接続証明



電話回線へ接続するための技術基準に適合していることを示しています。

健康ライフ

大腸の病気

指導・小松医院・小松良竹先生



大腸の病気の症状で、特に重要なものは血便、急性便秘、急性の腹部膨満です。血便もいろいろですが、大腸の病気によるものは鮮血の場合が多いのが特徴的です。痔と間違ひやすく、そのために手遅れになるケースも少なくありません。また、出血がみられなくても、急にひどい便秘になったとか、おなかが張って苦しいという症状が長く続くようなら、急いで大腸の検査を受けることが必要です。毎日の便の状態をよく観察し、異常は早く見つけることが大切です。



子からホンネ本音親から

高瀬小四年
島山智子さん

私のお母さんは、勉強のことに、ちよつとうるさくいうので、あまりうるさくいわないでほしいと思います。

だけど、このあいだは、うれしいことが一つありました。それは、私が卓球がへたなので、お母さんが健康増進センターに連れて行ってくれたことです。いっしょうけんめい卓球を教えてくれたので、少しはじょうずになり、とてもうれしかったです。毎日、いそがしいお母さん。体に気をつけて、がんばってね。



新町
島山安子さん

口ぐせになったのでしょいか、ついつい言ってしまう。これからはなるべく言わないようにしますから、自分から進んでやってもらいたいです。前から約束していた健康増進センターに行き卓球、バドミントン、リレーと、いろいろ遊び、たった一時間でしたがとても楽しいひとときでした。ぜひ機会を見つけて、また行きたいです。これから雪がいつぱい降り、朝はとても忙しくなります。お手伝いも頑張ってくださいね。



融資限度額が百万円に 国の進学ローンで家計負担軽減を

「国の進学ローン」が、融資限度額がこれまでの二倍の百万円に、融資期間が五年に延長されるなど、ぐっと利用しやすくなりました。

国民金融公庫などで取り扱っているこの「国の進学ローン」には、「進学一般貸付」と、進学積立郵便貯金の預金者に融資する「郵貯貸付」の二つの制度があり、低金利と使いやすさから、これまで多くの方に利用されています。進学に必要な費用は年々増加する傾向にあり、家計負担を少しでも

国の進学ローンの特長

1、低金利

国の進学ローンの金利は年五・七厘と安く、例えば百万円を五年で返済する場合、毎月の返済額は一万九千五百円程度になります。

2、使い道が広い

入学金や入学時の納付金だけに限らず、受験のための交通費から、教科書代、下宿の敷金まで、進学

に際して必要なあらゆる資金に幅広く利用することができます。

3、広い利用の窓口

国民金融公庫、沖縄振興開発金融公庫の各支店のほか、銀行、信用金庫など全国千百の金融機関、四万二千店の窓口で取り扱っています。また「郵貯貸付」は、簡易郵便局を除く全国一万九千の郵便局で取り扱っています。

財形進学融資

国の進学ローンと同様の制度に、雇用促進事業団の「財形進学融資」があります。財形貯蓄か財形年金住宅貯蓄者に、進学資金の融資を行う制度です。詳しくは、もよりの金融機関にお問合わせください。

みんなの健康

健康野菜

知ってまずか野菜のパワー

「たっぷり食べよう緑黄色野菜」最近、肥満児が目立ち、コレステロール値や血圧値の高い成人病予備群の子どもが増えています。その大きな原因は、スナック菓子、清涼飲料等おやつを取り過ぎや、野菜不足による食生活の乱れや偏りが考えられます。

子どもの頃から忍び寄る成人病をはねつけ、健康な体を保つための食習慣を身につけさせたいものです。

体の働きを円滑にするためには、一日少なくとも三百gの野菜が必要。野菜や果物には植物繊維が豊富なので、良く噛むことにより顎や歯ぐきが強化され、早食いの防止にもなります。

また、植物繊維は腸運動を高めて、便通をよくするだけでなく、ナトリウムやブドウ糖の吸収を遅らせ、コレステロールやブドウ糖の吸収を遅らせます。そして、緑黄色野菜には、正常な細胞ががん細胞に変わるのを抑制したり、発がん物質が体内で作られるのを阻止する働きがあります。

たかが野菜と思えるその中に、すばらしいパワーが秘められているのです。野菜の不思議な力、さっそく試してみませんか。

(保健婦・伊東志津子)

東由利の文芸

ゆりかご句会忘年句会から

◆年つまる更けて時計の音ばかり
遠藤トミ子(小倉)

◆ひととせを我が家支えし暦果つ
高橋ヒデ子(横渡)

◆新巻を裂けば潮の香手に残る
阿部澄子(蔵)

◆履く事もなき下駄仕舞い十二月
小松徳蔵(湯出野)

◆悲喜交々軍歌民謡忘年会
小松慶治郎(高戸屋)

◆冬帝のおだやかな日を嘉とせり
阿部義直(沼)

初孫です

新町・村上亜美ちゃん・11カ月
栄志さんと久美子さんの長女



おばあちゃん・五代子さんから「今月満一歳の誕生日を迎えます。この一年間、かぜひとつ引かず、とても元気に育ってくれました」



郷土の野草

文・写真 小松忠正

46

ウメバチソウ

(ユキノシタ科)

向陽の草地に多く見られる多年草で、根は比較的短かく太く、根から腎臓形の葉が集まって生え、茎は葉に抱かれるようにして10〜40センチで直立し9〜10月頃白色の五弁花を一つの葉から一花を開かせます。ガクは緑色の楕円形のものが五枚あります。和名は花の形が「梅鉢の紋」に似ているためにつけられたものです。花が美しく掘り易いため乱かくされ、数が少なくなりました。保護をして自然を守っていききたいものです。

善意

町社会福祉協議会にご芳志として谷口圭一さん(上通)、小松建一さん(寺田)から金一封、旧下郷地区還暦祝賀会(小笠原豊記代表)から一七、七四五円が届けられました。ありがとうございます。

町民カレンダー



ピックアップ

12月★町のミニ統計

(12/1〜12/30)

- 人口()は前月比
- 男 2,938人(2)
- 女 3,050人(△8)
- 計 5,988人(△6)
- 世帯数 1,440戸(1)
- ()は1月からの累計
- 出生3人(48) ●死亡2人(49)

●転入12人(90) ●転出22人(173)

●結婚3組(17) ●離婚0組(1)

●火災1件(3) ●救急車出動3件(77) ●ごみ処理量32t(321)

●交通事故0件(13) ●死者0人(0) ●傷者0人(18) ●飲酒運転0人(1) ●酒気帯び0人(3)

新春恒例の消防出初式が一月六日健康増進センターで開かれます。本町消防団員百八十五名と婦人消防隊などが一堂に集い、今年一年の無火災を祈願し合います。昨年は残念ながら三件の火災が起きてしまいました。今年は絶対に火事を出さないよう、年始めに各家庭でも、家族みんなで誓いあっていただきたいと思います。

戸籍だより

(12/1〜12/届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

小松 智美(忠孝・長女) 山崎 智賀子(孝一・長女) 宇戸坂 悦子(孝一・長女)

仙道 惠美(孝一・長女) 大吹川 翔子(惠利子・長女)

畠山 舞(範男・二女) 黒渕 隆子(範男・二女)

佐藤 アイ子(晃・二女) 祝沢 ミサ子(晃・二女)

●ごめい福をお祈りします

小松 典吉(72・英子・夫) 山崎 木嶋葉賀太(78・トシヨ・夫) 岩館 渡邊フチエ(82・仁・祖母) 時雨山 遠藤 シメ(71・典・母) 五海保

町民の声を町政に！
町長の面会日今月は20日



悩みごと何でも相談

【相談】埼玉にいる弟が病気になるって、市役所から、兄の私に扶養する意志があるかどうかの問い合わせを受けました。私には妻子があり、老父母もいてせいじつぱいの生活です。兄弟姉妹の扶養義務はどれほどあるのでしょうか。

【対応】子や老人それに病人などは誰かが扶養しなければ生活していきません。その人達を扶養するのが家族や親族です。しかし全員を扶養することはできないので、順位があります。①妻子②親③祖父母、孫④兄弟姉妹で、余裕があったとき下位を見ればよいのです。(町心配ごと相談所)

編集室から

▼六十三年最後の仕事
が新年号の編集で最後の原稿がこの欄。一年を省みながら書いています。四月九月は町勢要覧の編集・発行という大仕事を抱え、広報の編集にしろ寄せがあったことは自他ともに認めるところ。しかし十一月十二月はホッと過ぎて広報の編集に力量不足が生じたことは隠せない事実。良く出来て当たり前で出来が悪かったり内容がつまらなかつたりすると冷たい視線を浴びるのがこの仕事。一年を振り返り視線が気になった年のように思う。▼「われら巳年生まれ」で八人に抱負をうかがったが実は当月並みだが抱負は「もっと親しまれる広報づくりに努力したい」



町民カレンダー

3・新春将棋大会 (老方館)

5・町政座談会(八塩館9時)・大蔵館13時30分

6・消防出初式(健康増進センター)

11・宿・袖山地区栄養改善学級 (高瀬館)

13・雪ん子ふれ合いの集い(東中)

サッカーグラウンドほか

17・民生委員協議会 (有鄰館)

19・心配ごと相談所 (朋楽荘)

24・健康大学 (有鄰館)

29・全町室内綱引き大会 (予定)

30・蔵地区栄養改善学級(大蔵館)

31・4ヵ月クリニック (保健所)